

指導の手引き 22. 体

<b>head</b>		頭
英語らしい音を出すコツ	発音しやすい語。ネイティブスピーカーは強調して ea を長めに発音することもある。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	日本語では、眉から上を「頭」と呼ぶが、英語では、あごから上の部分は全て head である。	

<b>face</b>		顔
英語らしい音を出すコツ	f は下唇を上歯でかんで発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	face は head の一部、前に向いた、目や鼻や口のある部分。	

<b>ear</b>		耳
英語らしい音を出すコツ	「イヤー」ではなく「イエア」	
文法的な注意事項	数えられる名詞。両耳は ears 。	

<b>eye</b>		目
英語らしい音を出すコツ	「ア」を少し長めに「イ」は軽めに、「アーイ」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。両目は eyes 。	

<b>nose</b>		鼻
英語らしい音を出すコツ	nose の o は、唇を丸めて発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	

<b>teeth</b>		歯
英語らしい音を出すコツ	語尾の -th は舌先を上下の歯に挟んで発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。1本なら tooth、複数は teeth。	

<b>mouth</b>		口
英語らしい音を出すコツ	語尾の -th は舌先を上下の歯に挟んで発音する。この音がいいかげんだと、mouse (ネズミ) に聞こえてしまう。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	

<b>shoulder</b>	最初の shoul- にアクセント。	肩
英語らしい音を出すコツ	「ショルダー」ではなく、唇を丸めて「ショウルダァ」と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。両肩なら shoulders 。	

<b>hand</b>		手
英語らしい音を出すコツ	hand の a は、cat や panda と同じ「エ」と「ア」の中間の音なので、「ヘアンド」のつもりで発音するのが原音に近い。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。両手なら hands 。	
文化的な情報、応用表現など	手の指は finger だが、親指だけは thumb (語尾の b は発音しない) と呼ぶ。	

<b>leg</b>		脚(足)
英語らしい音を出すコツ	最初の l は、舌先を上歯の裏にしっかり付けて発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。両足なら legs 。	
文化的な情報、応用表現など	くるぶしまだが leg、その下は foot (複数形は feet)	

<b>knee</b>		ひざ
英語らしい音を出すコツ	k は発音しない。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。両膝なら knees 。	
文化的な情報、応用表現など	knee は関節のあるひざのこと。赤ちゃんを乗せたりする「ひざの上」は lap と言う。lap は複数にしない。	

<b>toe</b>		つま先
英語らしい音を出すコツ	oe の発音は、唇を丸めて。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。足の指一本が toe なので、複数は toes 。	
文化的な情報、応用表現など	足の指は finger とは呼ばない。バレダンサーの靴が toe shoes と呼ばれるのはつま先で立つように作られているからである。	